

案件概要書

2016年8月30日

1. 基本情報

- (1) 国名：ラオス人民民主共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ビエンチャン特別市（人口：約80万人）及びチャンパサック県（同：約70万人）
- (3) 案件名：首都及び南部拠点病院整備計画（The Project for Improvement of Teaching Hospital）
- (4) 事業の要約：首都及び地方のトップレファラル病院であり教育拠点であるビエンチャン特別市のセタティラート病院及び南部地域のチャンパサック県病院の施設及び医療機材を整備することにより、保健医療サービスの提供体制の向上と卒前・卒後研修の量的・質的改善を図り、もって同国の保健医療サービスの改善に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ラオス人民民主共和国は、人間開発指数が187か国中139位（UNDP Human Development Report 2015）と、東南アジアで最も保健セクターの開発が遅れた国である。母子保健指標は改善傾向にあるものの、拠点病院においても基礎的サービスの提供に必要な機材の劣化や人材の不足が顕著である等、保健システムは依然脆弱な状況にある。

同国政府は、「第8次国家社会経済開発計画（2016-2020）」において、保健分野を優先課題と定めている。保健省は、2025年までのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成を目標とする「保健セクター改革 2013-2025」を推進し、サービスデリバリーの強化や、保健人材の量的・質的改善を目指した取り組みを進めている。

本事業の対象病院のうち、セタティラート病院は、我が国支援により建設され、市民から「友好病院」と呼ばれ親しまれている病院で、首都に3か所ある中央総合病院の一つとして同国のトップレファラル病院である。一方、チャンパサック県病院は、経済発展が著しい南部パクセー市に位置するが、南部地域は依然として保健指標の達成度が低い上、地理的に中央病院への搬送も難しいため、域内で完結するサービス提供が従来にも増して重要となっている。しかしながらいずれの病院も、画像診断など、基礎的なサービス提供に必要な機材ですら経年劣化による不足・劣化が著しく、特にセタティラート病院は、近年の外来患者の増加に対応できていない。これらの理由のため、両病院は十分な医療サービスの提供が困難な状況にある。

また、セタティラート病院は、保健科学大学の実習病院として、医師・看護師らの臨床実習を受け入れると共に、感染症治療や母子保健の実践的技術を地方病院に普及させる役割を担う同国保健人材育成の要である。また、チャンパサック県病院は、南部地域のトップレファラル病院であり、チャンパサック保健短期大学の実習病院であると共に、当該県の現任教育の指導的役割を担っている。

かかる背景から、首都及び南部地域における保健医療サービスの提供体制の向上及び保健人材の量的・質的改善のため、これら教育拠点病院の施設・機材の整備が必要となっている。

(2) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

「保健医療サービスの改善」は対ラオス人民民主共和国国別援助方針の重点分野にも定められ、対ラオス人民民主共和国 JICA 国別分析ペーパーにおいても、2025 年までの UHC 達成への貢献をめざし、中央と南部地域を結びながらハード・ソフトを有機的に組み合わせた支援が必要であると分析しており、本事業はこれら分析、方針に合致する。

(3) 他の援助機関の対応

世界保健機関は中央レベルでの調整機能や開発計画策定を支援している。南部では、スイス赤十字社がセコン県にて保健財政と施設のマネジメント強化、世界銀行がリプロダクティブ・ヘルス、母子保健及び栄養に係るサービスの向上、アジア開発銀行はガバナンスやサービスデリバリー、行政マネジメント強化のためのプロジェクトを実施している。

(4) 本事業を実施する意義

中央と地方における拠点病院を同時に整備することで、同国における保健サービスの質の底上げを図る本事業は、同国保健省の方針及び我が国の援助方針にも合致し、SDGs ゴール 3 に貢献すると考えられる。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

首都及び地方のトップレファラル病院であり教育拠点であるビエンチャン特別市のセタティラート病院及び南部地域のチャンパサック県病院の施設及び医療機材を整備することにより、保健医療サービスの提供体制の向上と卒前・卒後研修の量的・質的改善を図り、もって同国の保健医療サービスの改善に寄与するもの。

② 事業内容：

ア) 施設、機材等の内容：保健施設の建設及び医療機材の整備等（詳細は協力準備調査にて確認する。）

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、施工調達・監理、医療機材の使用法の研修等（詳細は協力準備調査にて確認する。）

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認する。

③ 他の JICA 事業との関係

本事業の対象病院における実習改善を目標とした保健人材育成にかかる技術協力プロジェクトの実施を検討している。また実施中の技術協力「保健医療サービスの質改善プロジェクト」（2016 - 2021 年）では、チャンパサック県病院を含む南部地域の保健施設のマネジメント及び医療従事者の現任教育に重点を置いており、本事業による供与機材を用いた実習改善を検討している。

(2) 事業実施体制

- ① 事業実施機関／実施体制：保健省、チャンパサック県保健局
- ② 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認する。
- ③ 運営／維持管理体制：保健省及び県保健局は過去複数の無償資金協力及び技術協力を実施してきた実績がある。対象病院の施設・機材の運営／維持管理能力の詳細は、協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：□A □B ■C □FI
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。
- (4) 横断的事項：本事業により貧困層の保健サービスへのアクセス向上が見込まれるため、協力準備調査にて南部地域4県の貧困率等を確認する。
- (5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件
- (6) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

カンボジア王国への無償資金協力「バンティミエンチャイ県モンゴルボレイ病院整備計画」（2004年）の事後評価等において、調達された第三国製の医療機材について、地元業者がスペアパーツを調達できなかつたため修理が困難であったとのことから、機材本体のみでなく、スペアパーツにおいても現地における調達ルートが確保されることを確認すべきとの教訓が得られている。本事業においても、現地代理店を通じた機材及びスペアパーツの調達ルートを確認した上で、機材選定を行う。

以 上

[別添資料] 地図

教育拠点病院整備計画 地図

